

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 1 年 6 月 13 日 (2019.6.13)

【公開番号】特開 2018-113740 (P2018-113740A)
【公開日】平成 30 年 7 月 19 日 (2018.7.19)
【年通号数】公開・登録公報 2018-027
【出願番号】特願 2017-1498 (P2017-1498)
【国際特許分類】

H 0 2 M 3/155 (2006.01)

【 F I 】

H 0 2 M	3/155	C
H 0 2 M	3/155	W

【手続補正書】
【提出日】令和 1 年 5 月 8 日 (2019.5.8)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 6 2
【補正方法】変更
【補正の内容】
【 0 0 6 2 】

以下、本構成の効果を例示する。

上述した故障検出装置 3 では、制御回路 3 2 の少なくとも一部が信号出力部 3 2 A として機能し、共通信号線 7 1 を介して検査用指示信号（複数の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 に対して異常時の動作を指示する信号）を出力する。そして、信号分配部 7 2 は、制御回路 3 2 から共通信号線 7 1 に出力された検査用指示信号を複数の分岐信号線 7 2 A , 7 2 B , 7 2 C によって各々の 異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 に伝送する。このような構成であるため、実際には各異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 による検出対象位置に異常が生じていないときでも複数の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 に異常時の動作を行わせることができる。更に制御回路 3 2 の少なくとも一部が判定部 3 2 B として機能し、検査用指示信号の出力時に複数の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 から出力される信号に基づき、各々の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 が故障であるか否かをそれぞれ判定することができる。しかも、複数の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 に対して一斉に異常時の動作を指示することができ、これら異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 に検査用の動作を迅速に行わせることができるため、複数の異常検出回路 4 2 , 5 2 , 6 2 の少なくともいずれかにおいて故障が生じているか否かを、より短時間で判定することができる。